

# (神奈川県松田町)の課題

別紙2

(地方公共団体名)の  
概要・特徴等

松田町は神奈川県の西部にあり、東京から約70kmで、東名高速道路(大井松田IC)や小田急電鉄(新松田駅)、JR東海御殿場線(松田駅)、国・県道からのアクセスにも優れ、総面積37.75k平方メートルのうち、その94%が山間部に囲まれた自然のあふれる町です。古くから交通の要衝として栄え、自然と文化が調和する街です。人口は10,958人・4,895世帯(令和2年11月1日現在)です。高齢化率は34.1%(令和2年11月1日現在)です。

解決したい地域課題

課題分野:

①医療・介護・健康、②データ利活用・EBPM・DX

全体方針:

2019年度を皮切りに、今後8年間のまちづくりを進めていくため、本町のまちづくりの指針となる「松田町第6次総合計画」を策定しました。本計画では、まちの将来像を「いのち”育み”未来へ”ツナグ”進化”つづける”故郷 笑顔あふれる幸せのまち 松田ー」として、将来像の実現に向けて各種事業に取り組むこととしています。

介護予防分野における問題と課題:

介護予防分野においては、健康体操とおしゃべりを中心とした通いの場があり、感覚的には良好に運営されていると考えていますが、その効果が定量的に把握できておらず、具体的には「データの活用がされておらず、評価がうまくできていない。」、「男性の参加者が少ない。」、「新規参加者の確保が難しい。」、「保健事業と介護予防の一体化が進んでいない。」等の問題があります。そこで以下の課題について、民間のノウハウを提案いただき、官民連携等を通じて課題解決を図りたいと思います。

(1)介護予防の効果把握とPDCAによる運営が可能となるデータ整備

(①医療・介護・健康、②データ利活用・EBPM・DX)

(2)限られた職員の負担を抑えてデータを収集・管理できる仕組みの提供(同上)

(3)参加者を引きつける魅力ある会場作り、ICTが利用可能な高齢者を巻き込んだ取り組み(同上)

ソリューション提案に  
対するアピールポイント

本町は人口が少ないので、実証等を行う際には実施がし易いです。行政組織もコンパクトですので、官民等との協議に際しての調整も迅速に対応できます。また、本町は神奈川県と「エイジフレンドリーシティ」として連携していますので、雁行型での実証・実装等にも向いています。